

# カナダ



Autumn

あなたのにゅーたうんKANADA





(藤林俊信フェスタ実行委員会会長のあいさつ)



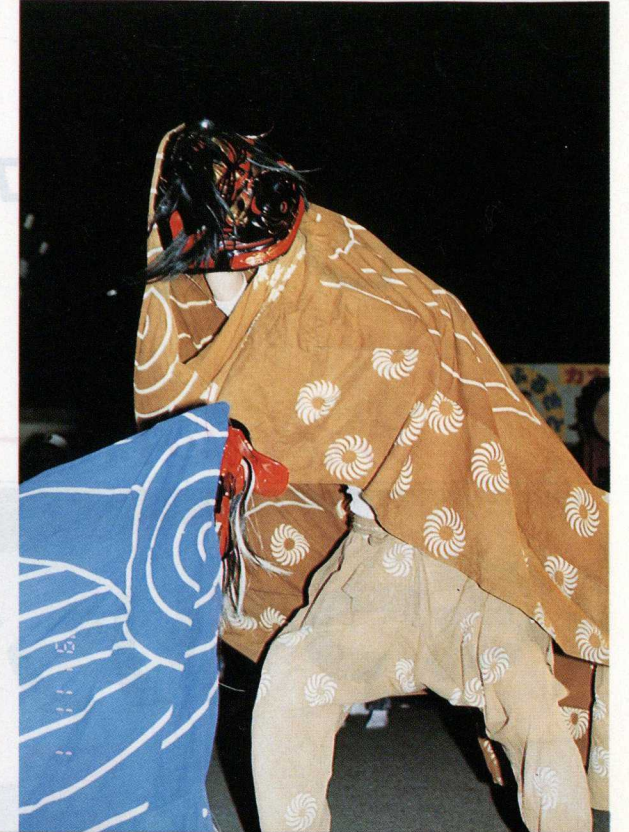
('91ふるさとカナダふれあいフェスタ会場)

# オープニング セレモニー

(神崎保育園児によるクス玉わり)



テープカット(属議長、大島町長、藤林会長(左より))



上金田獅子楽  
保存会の  
みなさん  
です。 一区  
獅子楽  
保存会の  
みなさんです。



(エネルギーなロック)



# ふるさと再発見 11/1日 (前夜祭)

星空の下での、伝統を受け継いでいく青年達、現代のミュージック・ロックを演奏する若者達、ともにこのふるさと"カナダ"を愛しています。

(自慢の"のど"をカラオケで)



# 第四回金田町少年の主張大会⑪ 私 持 ち



金田中三年

私達の周りには、色々な人がいますが、主に目につくのは「障害者の人」です。街などへ行くときよくみかけますが、私は正直言って、かわいそうだなあ、私はあんなふうにならなくて良かったなあ、と必ず思います。障害者の人達は、何事もなように元気良く笑ったり、しゃべったりしています。でも、周りの私達はぜったいに見てしまいます。

私だけではないと思います。母達と先日直方に行き、駅前前のスーパに行き、婦人服や、子供服、それにさまざまな小物などを置いてある階で、障害者の人達数人と先生らしき人が、楽しそうに買い物をしているのを見ました。私は、母や弟と一緒に見るともなく自分達

の欲しい物をさがしてしました。その人達は少し不自由そうな手で、あれやこれや手に取っては、先生みたいな人に何やら相談をしてるようでした。

私は少しびっくりしました。人の目を気にする事もなく、私達の横を通る時などぶつかりそうになると、頭をちょっと下げて、あいさつをするようにして通りすぎるのです。少し引きずったような足、あまり自由には動かないような手、しゃべる言葉もあまり私達には良くわからないのに、落ちついてはずかしそうでもなく、店員さんに何か聞いてくるようでした。店員さんも申し訳なさそうな顔をして良くわからないのか、何度も聞き返していました。

私は、その時思いました。私だったら、きっと自分自身の不自由さをはずかしがったり、人には良く聞きたらもらえない言葉の事を気にして、おしゃべりも人前では、きつと出来ないのではないか、親の事をうら

んだり、神をうらんだり、明るい顔もできないような暗い人間になっていくのではないだろうか、でも、この人達は健常者の人達と、同じ事を、同じようにしようと思っているのだ。自身自身の努力や強さ、それに先生や親の人達も皆で努力して、人前でもどうしようと明るくふるまえる態度、私達はかわいそうだとか、気の毒だとかあわれみをもった気持が先に立って、見て見ぬふりをしたり、「かわいそうに」と口には出さないうまでも、きつとそんな顔をして見ていたに違いないと思います。

障害者の人達にはそのような気持の方が、ありがた迷惑だったのではないのでしょうか。私には人の目を気にするより、自分の歩く一歩一歩の足どりの方が大事なのだろうと、自分に出来る事は、どんな小さな事でも自分の力でする事の方がその人の為になるのでしょうか。人の力をかりずに、何

原口 織江

でも自分自身の力で出来た時の喜びの大きさを知って欲しいとの、周りの人達の思いが、何となく私にはわかるような気がしました。

私達もその喜びを、学校の事や家庭の事などでも、感じてきました。その為にこうして、自分達で買物にも行けるように、障害を持つ人達が一緒に頑張って、人ゴミの中で努力しているのではありません。私達は、何か小さな事でも、その人達が助けを求めて来た時に、自然に笑顔で手をかしてあげられれば、良いのではないのでしょうか。私達は健常者として、障害を持つ人達と、どうつき合っていけば良いのかを、自分なりにもう少し考えてみたいと思います。

障害を持つ人が皆、努力ばかりしている人ではないかもしれないけれど、私達と同じ社会で同じ学校へ通えるような設備がもっとふえれば、もっと多くの友達もてる気がします。

感想 田中教育長

自分の身の周りを見つめその中から身体障害者のスパーでの買物の様子をみて自分の心の動きと身障者への対し方、更に将来の身障者福祉社会のあり方まで考えようとしたという、着想も、見方も、文章表現も実にしっかりしています。

「人の目を気にするより自分の歩く一歩一歩の足どりの方が大事」であり「何でも自分自身の力で出来た時の喜びの大きさを知る」というあなたの感想は障害者を通して、あなた自身の目で見あなた自身の頭で考えたこと、つまりあなた自身を発見したということですね。これは、まことに重大な発見です。人が生長するということとは、こういう発見が積み重ねられていくことであり、自分の外への目が、同時に自分の内側のものを見る事が出来るようになるという事です。学校での勉強や、読書ということもここが出发点になります。あなたのその発見の喜びは読む私にもよくわかります。それを大切にして、更に考えを深めて下さい。

# 第四回金田町少年の主張大会⑫ 今、思うこと



金田中三年

「あははははは……」。

この大きな笑い声は私が一日に最低二回は出す授業中の声です。休み時間にも話しているようなこの大声、いくら先生に注意されても、やめるのはその場だけで、毎日毎日同じことのくり返しでした。他のまじめに授業を受けている人にとっても迷惑をかけていたにちがひありません。けれどその時は他の人の迷惑なんてわからないのです。

自分が楽しければそれでいい。なんて、自己中心的なことを思っていているんですから。

なんてやっと思ってしまうが、それが今までの私のあたりまえの生活だったんです。

しかし最近はやはりおしゃべりはしますが、あまり

ひどくしゃべらず、けつこうふつうどりに授業を受けるようになります。それはあたりまえのことなんです、今までおしゃべりをするのが当然だった私には、とてもむずかしいことだったのです。

でも今は、「しっっかり聞いていないと……」と自然に思っているのです。なぜそう思うようになったのか、その理由は二つあります。

一つは、あと一年で受験だ。と今までわかっていたことなのですが、今あらためて感じたこととしてもう一つ、先生に何度注意されてもなおらなかつた私のおしゃべりを少しづつ減らした理由、それは部活のことで、私は一年後半から、小学校のころから絵を書くことが好きだったこともあり、美術部に入部しました。そして今までずっと美術部の仲間といっしょに活動してきました。十二月の文化祭では、二、三年女子でセ

ル画のスライドを作りました。

その制作にあたって、みんなで放課後毎日ように残り、切が近くなると夜おそくまで残ってがんばりました。それが完成した時のあの感動、今でもわすれられません。その美術部を、両親は三年になったらやめさせる。というのです。理由は成績が下がったから。

お！何てことなの!!私はその思いをいたしました。そして、つたいやめたくなかつたので、一生懸命やめなくていい方法を考えました。考えを考えた末、ある答えを見つけたのです。「そうだ!!三学期の成績を上げればいいんだ。一今そんなことが頭にあるので授業をふつうどうり受けれるようになります。いえ、なつたつもりです。あとは試験の結果しだいです。精一ぱいがんばるつもりです。

今、自分が少しはおしゃべりもしますが、ふつうどうり授業を受けるようになります。

って思うことはまわりのうるささです。自分がおしゃべりをあまりせず授業を受けていると、今まで気づかなかつたことに気づきます。自分がしゃべっているとき、他の所で人がしゃべっているのもぜんぜん気になりません。しかし今は本当にまわりがうるさいのに、迷惑さを感じます。

そして今まで、自分がどれだけ他の人達に迷惑をかけていたかが、今わかるような気がしています。今、始めて授業の大切さがわかり、自分がかけていた迷惑の大きさを反省しつつあります。

これから、三年生、高校生となるにつれて、この経験をわすれないように、とにかく人の気持の奥底がわかるような人間になりたい、いえ、必ずなろうと思えます。

感想 田中教育長

身近な学校生活の中の授業態度のことから、さりげなくふるまって来た自分をふりかえって「人の気持の奥底がわかるような人間になりたい」という人生の目標をたてた。一つの「願望」ですね。こういう大望を抱くことが出来るのは若者の特権です。それを単なる願いだけに終らせない為にどうすればよいか。あなたの好きな絵を描くこと、それも一つの方法でしょうし、心理学や精神医学などの科学を学ぶことも一方法でしょうし、文学や音楽などの芸術分野に進むことも一つの方法でしょう。その為には努力が必要でしょうが、あなたが今のその「大志」をあくまで伸ばされることを私も祈ります。

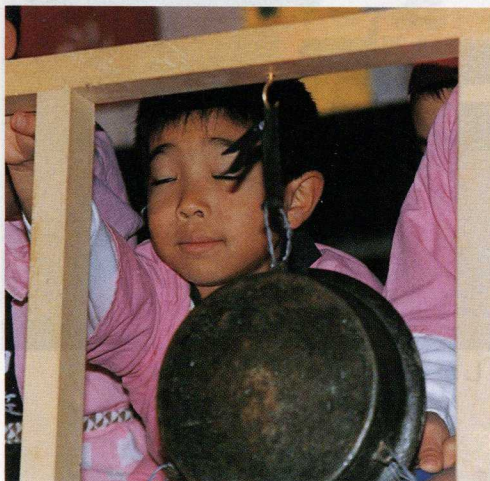
# シャッターチャンス!



「お姉さん、どうやってのの?」↑



「いらっしゃい、いらっしゃい、いらっしゃい」↑



「(1日前夜祭での一区獅子楽のとき)↑  
『ぼく達には、時間が少し遅かったかな』



← 猿舞座の“新平”くん

人形を抱いたり、目頭をハンカチで押さえたり、師匠に相談するしぐさ等、楽しいひとときでした。



# まちづくりアンケート

ご協力ありがとうございました。→

早速、集計作業に入っていますので、年末までには終了します。

フェスタ参加人員

|       |            |
|-------|------------|
| 11月1日 | 600人       |
| 2日    | 1,400人     |
| 3日    | 1,300人     |
| 計     | 3,300人でした。 |



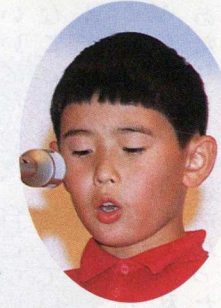
金田小6年 放送委員  
天賀 典彦君



金田小6年 広報掲示委員  
利光 愛さん



金田小6年 児童会計画委員  
中原 奈緒さん



金田小6年 図書委員  
野田 大樹君



県商工会青年部連合会会長  
池田 昇さん



上金田青年団長  
和田 智幸さん



県鞍手農業改良普及所主任技師  
古屋 隆司さん

## カ 感動 ナ 仲良し タ 大好き

# まちづくり弁論大会

### 私ならこうする!



赤池町まちづくり課長  
太田 傅さん



小野英語教室代表  
村上(旧姓小野)美幸さん



ひらばる幼稚園教諭  
辰島 有佐さん



金田町議会議員  
(とびりの)江口 三郎さん



金田町老人クラブ連合会会長  
吉田 繁雄さん



平成筑豊鉄道株総務課長  
高橋 勝さん

〈表紙写真〉